

2024/3/15

準備委員会メンバー共有用

なんば広場 幹事会議事メモ

日時:2024年3月15日(金)13:00~15:00

場所:河原センタービル 3階 小会議室

参加:戎橋筋商店街 菊地氏、青木氏
なんさん通り商店会 木村氏、木本氏、丹野氏、菊澤氏
高島屋 藤原氏、井原氏
マルイ 田中氏
南海電鉄 寺田氏、平木氏、青木氏、入江氏、廣田氏、北川(記)
HBP 泉氏、岸本氏
Cyujo 佐藤氏、川上氏

(1) 広告とイベントについて(CYUJO)

(株式会社 Cyujo 佐藤氏・川上氏より説明)

■ 広告について

- ・資料「設置するメディアについて 進捗状況のご説明」に沿ってプロポーザル時からの広告媒体の変更について説明と相談。
- ・JV メンバーでありデジタルサイネージ施工を担当する株式会社 LIVE BOARD からの提案。
- ・当初の 4 連のサイネージから大型の LED パネル 2 面の「三角サイネージ」により媒体単価・広告価値の引き上げを狙う。ただし設置コストは未計算。
 - 設置コストの見込みはどうか。(木村氏)
 - 提案元である株式会社 LIVE BOARD から LED パネルの無償貸出を予定しており、準備委員会としては躯体のみの用意を想定している。躯体については丈夫なステンレス製で見積を依頼中である。(佐藤氏)
 - 空枠での広場の宣伝は可能か。(木村氏)
 - 可能でありデータ作成は要相談。今回三角サイネージ 2 面のうち人通りの多い各商店街側 1 面は広告、残り 1 面は防災や警察、消防の啓蒙情報など広場滞在者に向けて安全安心な情報発信に役立てられないかと考えている。(佐藤氏)
 - 類似媒体はあるのか。(菊地氏)
 - 今後の制作となる。LED パネルは既に株式会社 LIVE BOARD が所有している。(佐藤氏)
 - 媒体の躯体上部にカメラを設置することでいたずら防止や新たな広告利用に繋がりたいと考える。(佐藤氏)
 - 躯体の埋設、基礎工事はあるか。また電源の取り方はどうなるか。(平木氏)

- 躯体は設置するのみである。電源は照明柱から側溝経由での受電を想定している。(佐藤氏)
- 南北動線(戎橋筋商店街～なんさん通り商店会)に対して平行にサイネージを設置する意図は何か。(平木氏)
- 広場滞在者への視認性を考えている。角度については引き続き協議したい。(佐藤氏)
- 広場側の面には観光案内を入れてもどうか。(木村氏)
- 広場側の面でも広告を入れることができれば収益を得られるのではないか。(木本氏)
- (広場側の面は)利活用エリアでのイベント時に開催者側の PR にも繋がるのではないかと考えている。(佐藤氏)
- 柔軟に対応してはどうか。(菊地氏)
- 商店側の面には音声あり、広場側の面は静止画で検討している。(川上氏)
- 屋根の設置はないのか。(入江氏)
- 設置はない。(佐藤氏)
- 全 24 枠を活用して両面での活用、なんさん通り側の面の活用を検討して欲しい。また画面の保護は問題ないか。(井原氏)
- 保護板の設置は太陽光の反射等により広告価値が下がることが懸念されており悩ましいところ。(佐藤氏)
- 1 時間に流れる広告の頻度について資料最終ページの記載方と異なる。(井原氏)
- 今回の広場提案は 15 秒/6 分(全 24 枠)で 1 時間に 10 回表示される予定。(佐藤氏)
- 異常対応も含めたメンテナンスはどうするか。(井原氏)
- 異常時の対応体制は構築する。(佐藤氏)
- 現状の防犯カメラで監視できるのか。(藤原氏)
- 確認できるのではないか。(平木氏)
- 音量の調整は可能か。(青木氏)
- 音量は調整する。(佐藤氏)
- 横長のビジョンとすることで音声ありの広告を流したい事業者もいるのではないか。(川上氏)
- 警察や行政協議はこれから進める。(岸本氏)
- 災害時のサイネージの役割について、地元エリマネ団体として活動するミナミまち育てネットワーク(防災 WG)とも連携をしたい。(田中氏)
- 三角サイネージのデザイン、大きさと広場での見え方のイメージが欲しい。(菊地氏)
- 本日の提案で設置に向けて検討を進める。パースやデザイン等は後日共有をお願いする。(岸本氏)

■復興「桜祭り」イベントについて

- 能登半島の復興支援を目的に桜祭りを 4/2～4/8(設営撤去を含む)に開催する。
- コンテンツとして憩い空間に桜 3 本の展示と、石川県の観光 PR、賑わい空間としてマルシェとステージでの復興音楽祭と称した音楽イベントを予定している。売上は義援金とする。

- ・主催は信和ホールディングス株式会社、協賛は信和ホテルズ株式会社・株式会社新都計画、後援は石川県人会を予定。
- ・飲食は石川県の食材を使用したものとして売上は義援金とする。
 - 桜の種類等の説明版設置を検討して欲しい。また触れないような注意書きが必要。(井原氏)
 - 警察協議をしており、実施の方向で進めている。(廣田氏)
 - 毎日の清掃が必要。(藤原氏)
- ・実施に向けて引き続き企画を進めていく。今後も進捗に合わせて説明をお願いする。(岸本氏)
- ・当初提案のシリンダー広告については大阪市による照明柱の修繕ができないため実施せずとする。(岸本氏)

(2) イベント実施に関わる共催の考え方

(南海電鉄 廣田氏より説明)

- ・現在の社会実験は将来のほこみち獲得を目指しているが、現状法的制度の裏付けがない中での道路上でのイベントについて、民間企業が主体となるイベントに根拠が弱いと警察が難色を示している。
- ・対応策として民間企業(公的機関ではない団体)に対して、準備委員会が共催とすることはどうか。
- ・将来のほこみち獲得に向けて社会実験の一環として準備委員会も共催として一緒に取り組むことが本筋ではないかとの警察の指摘もある。他のエリアでも公共性担保のためにエリマネ団体が主催・共催として名を連ねて受け入れている。
- ・社会実験期間中及びほこみち獲得ができるまでの措置としたい。
 - それは名ばかりでよいのか。(菊地氏)
 - イベント内容も関係する。社会実験の一環であると言うことが重要である。(廣田氏)
 - 共催とすることの線引きはどこですか。(菊地氏)
 - 今回の社会実験で目指すところで、内容としての公的性はもちろん、準備委員会が必要としている内容であることを示す必要がある。(廣田氏)
 - 共催とすることに対して準備委員会として検討判断しているのであればすべきではないか。(藤原氏)
 - 最終的には民間団体が共催なしでも開催できるようにするべき。(菊地氏)
 - 大阪市の立場に変わりはないのか。(泉氏)
 - これまでと変わりはなく、内容の公共性があれば大阪市の副申をつける。共催が名ばかりではだめという指摘もある。主体的に取り組んでいるかどうか。(廣田氏)
 - トラブル回避のため事前の協議会との綿密な連携と理解を求める必要がある。(菊地氏)
 - 準備委員会に全ての責任がないように徹底的な審査が必要である。(田中氏)
 - 社会実験を進めるためにまずは共催としつつ、しっかりと管理していくことが必要である。(木本氏)
- ・今後株式会社 Cyujo との桜祭りイベントから準備委員会が「共催」として携わっていく。(廣田氏)

(3) 椅子・机の購入について

(HBP 岸本氏より説明)

- ・椅子・机について、将来の仕様を探るために数種類の設置を試してはどうか。
- ・椅子は折り畳み型、背面の違い、ひじ掛け有無等で案を示している。倉庫の収納も考慮。
 - 複数種類の設置は見栄え的によくないのでは。(井原氏)
 - メーカーに直接問い合わせてみたい。サンプルを取り寄せて検討してはどうか。(木本氏)
 - 折り畳み型はどうか。(泉氏)
 - 怪我をする恐れがある。(木本氏)
- ・(資料内の「椅子 4」)SKIN/Calligaris のサンプルを取り寄せて試用、検討する。
- ・3/26 に現状の椅子・机の再設置を行う。(廣田氏)

(4) その他

■河原センタービルでの事務所開設検討について

- ・当面の使用方をどうするか^の検討が必要。広場に設置の椅子・机等の収容はエレベーターの仕様等で困難ではないか。(入江氏)
- ・なんさん通り商店会事務所と併用する場合、現在の事務所代分は拠出する。(菊澤氏)
- ・採決の結果、借用することで決定。年度内での手続きに入りたい。

■幹事会の進め方について

- ・次年度以降の幹事会について必要に応じて開催してはどうか。合間は WG 等で方向性を定める等にしてはどうか。
- ・情報共有等メールでの連携もあればよいのではないか。(菊地氏)
- ・次年度以降、第 2・4 金曜日を幹事会として合間は WG での活動とする。

■WEB サイトの更新事業者案について

- ・クリエイティブ集団でデザインも手掛ける株式会社人間に提案を求めてはどうか。(岸本氏)
- ・株式会社 Cyujo にも提案を求めてはどうか。(菊地氏)
- ・株式会社サイバー・クラフト及び大阪屋通商の四月朔日氏にも確認する。

- ・次回 3/22(金)13:00～幹事会@南海電鉄

以上